

## かかりつけ薬剤師・薬局

普段から何でも相談できる

「かかりつけ薬局」をお持ちですか？



©2014 大阪府もずやん

薬局は、薬や健康のことを  
なんでも相談できる  
あなたのパートナーです

薬剤師に  
相談しましょう

ジェネリック  
医薬品のことを  
聞きたいな



お医者さんに相談したいことが  
あるんだけど、薬剤師さんから  
伝えてくれないかな

市販薬（OTC医薬品）は  
今飲んでる薬と一緒に  
飲めるの？



目薬を上手に  
さすコツを教えて！

このお薬は  
いつものサプリと  
一緒に飲んでも  
だいじょうぶ？



飲み忘れたり  
飲みにくい薬があって  
薬が残ってしまう



Tips!

かかりつけ薬局（かかりつけ薬剤師）を決めておくと、使用する「薬」の相談はもちろんの事、飲み合わせや副作用がでないかといったことを確認してもらえます。また、体質や病歴を考慮した健康相談、介護や医療についても相談にのってもらえます。ひとつの薬局・ひとりの薬剤師を「かかりつけ」にしましょう！



# かかりつけ薬局って どうやって選ぶの？



薬局にはいろんなタイプがあるよ

たとえば

健康サポート薬局

地域連携薬局

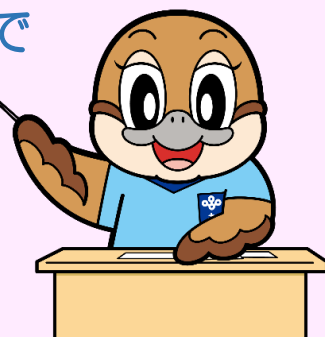
専門医療機関連携薬局

## 『薬局機能情報検索サイト』で

自分にあった機能の薬局を探してみよう！

大阪府 薬局機能情報

検索



### 健康サポート薬局

市販薬や健康食品・サプリ、介護や福祉、食事・睡眠・禁煙のような生活習慣など、セルフケアやセルフメディケーションを支援します。地域の皆様が、薬や健康に関して気軽に相談できる薬局です。



お薬の処方なくても健康であるための支援をしてくれるんだね！

こんな機能があるよ！

働く人のサポートに週末も開局しています

プライバシーに配慮安心して相談できます

フレイル予防や禁煙相談健康イベントやっています



健康サポート薬局

処方箋がなくてもいつでも相談できます

介護用品市販薬・サプリご相談ください

健康サポート専門の研修を受けた薬剤師がいます

etc.

Tips!

市販薬でも誤った使い方していると薬物依存症になるおそれがあります！

処方箋がなくても購入できる市販薬（OTC医薬品）は、効き目の弱い薬と思われがちですが、用法・用量を守らずに使用すると、効果が強く出すぎたり、副作用が現れたりする危険性があります。また、成分によっては依存性が強いものもあり、市販薬の使用をやめられなくなる危険性もあります。例えば、風邪を引いたときに使う咳止めの成分でも、そういったことが起こります。市販薬でも誤った使用方法是、薬物乱用になり健康被害が発生するおそれがありますので、薬は正しく使用しましょう。

# 地域連携薬局

外来での受診から医療機関への入院、さらには退院後の自宅や介護施設等での在宅医療を受ける際の訪問対応まで、お薬のことについて医療や介護の関係施設と連携しながら、患者さんを支えていく薬局です。

こんな機能があるよ！

いつでも  
相談・調剤  
できます

高度な医療機器や  
緩和ケアのお薬  
ご用意します

充実した  
在宅訪問の  
実績

車椅子も安心  
バリアフリー  
対応

地域の医療 関係者に  
お薬情報を発信  
(地域のDI室機能)

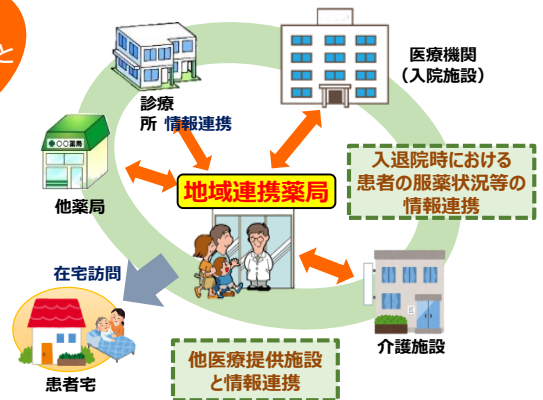
etc.

注射剤の  
無菌調製も  
おまかせ！

プライバシーに配慮  
安心して相談  
できます

地域の  
医療介護施設と  
しっかり連携

患者さんの療養環境が  
変わっても、とぎれる  
ことなく対応します



# がんの 専門医療機関連携薬局

がん治療の専門医療機関と治療方針などを共有し、専門性の高い薬学的管理を行うことで、抗がん剤などのお薬を使用している患者さんを支えていく薬局です。

こんな機能があるよ！

いつでも  
相談・調剤  
できます

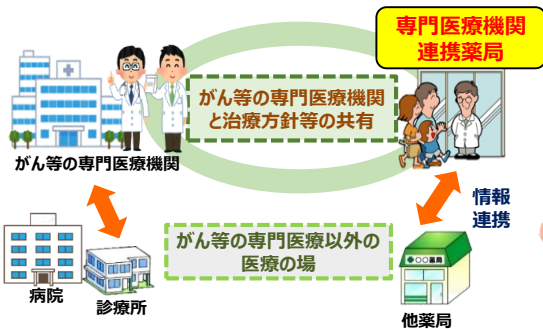
がん専門医療機関と  
しっかり連携  
しています

がんによる痛みの  
緩和ケアのお薬  
ご用意します

認定を受けた  
がん専門薬剤師  
がいます

プライバシーに配慮  
個室で相談  
できます

etc.



がんの患者さんを  
専門的な薬学管理機能で  
サポートします

Tips!

薬をより安全に使うには？「お薬手帳」を1人1冊持ちましょう

自分が使っている薬を記録するために「お薬手帳」の活用と携帯をオススメします。お薬手帳によって普段から使っている薬や薬に関する情報を正しく知ることで、副作用や誤飲の防止につながり、薬によるアレルギー経験やジェネリック医薬品への切替え時の情報なども医師や薬剤師へ正確に伝えられます。お薬手帳は診察や薬の購入時だけでなく、災害などの緊急時に備えて常に携帯しておく、いざというときに安心です。医療機関や薬局ごとに手帳を分けてしまうと、医師や薬剤師が正確な判断をしにくくなるため1冊にまとめましょう。スマートフォンなどで利用できる電子版お薬手帳もあるので、迷ったときは薬剤師に相談して、使いやすいものを選んで活用しましょう。

# おしえて！薬のこと

## ～供給について～



近頃、処方箋で薬をもらうとき、薬が入手できないと言われたり、これまでの薬と違うものになったりしているけど…どうなっているの！？



2020年に薬を作っている会社のいくつかで国に認められていない作り方をしていたことがわかり薬の製造を停止したり、自主回収をしました

このため、医療現場への供給量が減ってしまい一部の薬が足りない状況が続いています

また、海外製の原料が十分に輸入できなくなって不足しているケースもあります

ジェネリック医薬品は、いろんな会社を作っているんでしょ？他の会社を作ったらいいんじゃない？

他のジェネリック医薬品メーカーも増産するなどして患者さんに安定して届けられるよう取り組んでいますしかし残念ながら、まだ、十分ではない薬もあります

ちゃんと治療が続けられるのか心配…

**薬剤師にご相談ください**  
**患者さんが継続して安心安全な治療を受けることができるようお医者さんと連携しています**

